



2019年2月8日

各 位

会 社 名 J X T Gホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 杉森 務
コード番号 5 0 2 0 東証・名証第1部
問合せ先 財務IR部IRグループマネージャー
日暮 達也
(電話番号 03-6257-7075)

2019年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2018年11月7日に公表した2019年3月期通期連結業績予想について、下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2019年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2018年4月1日~2019年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	税引前利益	親会社所有者 に帰属する 当期利益	基本的1株当 たり当期利益
前回公表(A) (2018年11月7日発表)	11,500,000	680,000	655,000	430,000	127円39銭
今回修正予想(B)	11,000,000	500,000	475,000	300,000	88円88銭
増減額(B-A)	△500,000	△180,000	△180,000	△130,000	△38円51銭
増減率	△4.3%	△26.5%	△27.5%	△30.2%	△30.2%
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	10,301,072	487,546	467,435	361,922	105円92銭

2. 修正の理由

第2四半期まで堅調であった原油価格が第3四半期に入り急激に下落し、それに伴い石油製品市場が前回予想より悪化しました。また、原油価格の下落を踏まえて、1月以降の原油価格の前提を1バーレル当たり60ドルへ見直し(前回70ドル)、前回公表において見込まれた900億円の在庫影響(総平均法及び簿価切り下げによる棚卸資産の評価が売上原価に与える影響)が発生しない見込みとなったことから、営業利益は、前回予想比1,800億円減益の5,000億円となる見込みです。

また、これらにより、税引前利益は前回予想比1,800億円減益の4,750億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は前回予想比1,300億円減益の3,000億円となる見通しです。

〔在庫影響〕

(単位：億円)

	前回公表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)
在庫影響	900	-	▲900
在庫影響を除いた 営業利益相当額	5,900	5,000	▲900

本見通しは、通期平均で原油価格（ドバイ原油）；1 バレル当たり 68 ドル(1 月以降 60 ドル)、銅の国際価格（LME 価格）；1 ポンド当たり 286 セント(1 月以降 275 セント)、円の対米ドル相場；111 円(1 月以降 110 円)を前提としております。(前回公表：原油価格；1 バレル当たり 72 ドル、銅の国際価格；1 ポンド当たり 285 セント、円の対米ドル相場；110 円)

なお、在庫影響除きの営業利益が中期経営計画の目標を前期に引き続き達成する見込みであることや、フリー・キャッシュ・フローやネットD/Eレシオ等他の目標指標についても順調に推移していることから、期末配当予想を前回予想から1円増配の11円/株とし、加えて、自己株式の取得及び消却を行うことを決定しました。詳しくは、本日発表の「2019年3月期（第9期）配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」及び「自己株式取得に係る事項の決定および自己株式の消却に関するお知らせ」をご覧ください。

(注) 本資料には、将来見通しに関する記述が含まれていますが、実際の結果は、様々な要因により、これらの記述と大きく異なる可能性があります。かかる要因としては、(1) マクロ経済の状況又はエネルギー・資源・素材業界における競争環境の変化、(2) 法律の改正や規制の強化、(3) 訴訟等のリスクなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

以 上